

学習内容と到達目標

☞ 自分と自分の家族を紹介できるようになる。

前半：[1. READING] ～ [6. WRITING] (自分自身の紹介)

後半：[7. VOCABULARY] ～ [9. PAIR WORK] (自分の家族の紹介)

指導のポイント

☞ 学生には必ず予習をさせること。事前にスケジュール表を確認し、巻末の文法解説を読み、語彙を覚えてくることを義務づける。

1. READING

写真の女性の名前、所属、学年、趣味が読み取れば OK。

2. LISTENING

3人の所属(大学・学部)、学年、趣味が聞き取れば OK。4ページのスクリプトは [1. READING] とほとんど同じスタイルなので、平仮名がまだ十分に定着していない場合には、飛ばしても構わない(第8課を学習する時に復習に使うのもよい)

4. SPEAKING

[1. READING] の自己紹介文を参考に学生自身の自己紹介をさせる。学生に余裕がある時には、「～から来ました」や「～と呼んでください」などの表現を(文法説明はせず)定式表現として教える。

5. PAIR WORK

指示文には「お互いに聞き合いなさい」と書いてあるが、この段階ではまだ疑問文の作り方を勉強していないので、相手が話した内容を書き取るだけでも構わないし、学生に余裕があれば、ここで疑問文の作り方を教えてもよい(学生B用の情報カードは巻末の264ページに)。

6. WRITING

[5. PAIR WORK] で共有した情報を使って完成させる。自己紹介の定式表現(例、「はじめまして」「どうぞよろしく」など)の確認が目的。

7. VOCABULARY

③年齢を聞き取るためには、数字の数を知らなければならないが(1～100までの数え方は次の[8. FOCUS]で練習)、学生は授業の予習をしているはずなので、CDを聞く前にここで練習することはしない。

④で会話の内容を確認する時、自分の家族と他人の家族では呼び名が変わることに気づかせる(例、父 vs お父さん)。平仮名がまだ十分に定着していない場合には、会話を聞いて「何人家族ですか」「おいくつですか」「お仕事は？」という3つの表現の意味と使い方さえ確認できれば、スクリプトを読ませなくてもよい。

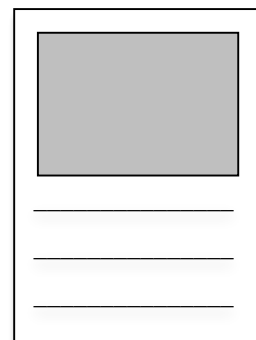
10. WRITING

時間がなければ、宿題にする。

活動例

①自己紹介シートを作る

- ☞ B5 または A5 サイズの紙の下半分に自分の氏名・所属・趣味・出身・呼び名などの情報を書き込んだカードを作り、[4. SPEAKING] で使用。終わったら、上半分に自分の顔写真をプリントアウトして貼付け（あるいは、自分で自分の似顔絵を描き）、クラス全員分のカードを模造紙（ポスター発表や小学校の自由研究の発表などに使う大判の紙）に貼って教室に掲示する（新学期が始まったばかりで学生同士まだお互いの顔と名前が一致しない時や、クラス単位での仲間意識を持たせたい時に有効）。



②家族構成の図を描く

- ☞ 第8課の最初（74 ページ）にある山川さんの家族構成と同じような図を描き、そこに職業、年齢などの情報を書き込む。[9. PAIR WORK] の②で使用。使い方は3種類。①自分が描いた図を相手に見せながら家族の紹介をする。②自分が描いた図を相手に見せずに家族紹介。相手はそれを聞いて家族の構成図を描き、年齢や職業などの情報を書き入れる。終わったら、お互いの図を見せ合い、正しく伝えられたかどうか（正しく聞き取れたかどうか）を確認する。③相手に自分が描いた図を説明させるのではなく、「何人家族ですか」「おいくつですか」「お仕事は？」などの表現を使って、必要な情報を聞き出す。終わったら、②と同様、お互いの図を見せ合い、確認をする。

授業で使えるリソース

- ☞ 家族に関する語彙を練習する時、「サザエさん」や「ちびまる子ちゃん」など、学生たちが良く知っている漫画のキャラクターを使うと授業が楽しくなる。「ちびまる子ちゃん」についてはフジテレビのオフィシャルサイトに家族紹介のページあり。「サザエさん」も「サザエさん市場」というサイトに磯野家の家系図や自宅の間取りなどが載っている。

プチ情報：サザエさんは福岡出身！

福岡市早良区西新6丁目に「サザエさん発案の地」がある。また、原作ではサザエとマスオは福岡市中央区にある老舗デパート岩田屋の地下食堂でお見合いをしたことになっているらしい。